

平成 19 年度  
土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集  
地方審査 最優秀賞受賞作品

【絵画の部（小学生）】



川西町立玉庭小学校 4年  
大木 凱 さん

【ポスターの部（小学生）】



寒河江市立田代小学校 4年  
田代 琴見さん

【ポスターの部（中学生）】



山形市立第十中学校 1年  
淀野 晴花さん

【作文の部（小学生）】

「土砂災害について」

鶴岡市立斎小学校 2年 佐藤 諒さん

ぼくは、1学期のおわりごろ、テレビで土砂災害のようすを見ました。ぼくは、こわいなあとあって、どこでおきたかお母さんに聞いたら、

「山形けんのすぐとなりの新がたけんでだよ。」

と教えてくれました。ぼくは、それを聞いてますますこわくなりました。土砂災害がぼくたちのすんでいるところでおきてもおかしくない！と思ったからです。

そうしたら、お母さんが

「きょ年、つる岡でも土砂くずれがあったよ。」

と言ったので、ますますびっくりしてドキッとしました。

その時は雨がたくさんふって、土がやわらかくなってくずれてきて道や線ろをふさいだと聞きました。ぼくは、それを聞いて、近くの家の人、会社にもおかいものにも行けなくて大へんだなあと思いました。

そして、もっと大へんなのはびょう気の時。きゅうきゅう車をよんでもこられないから、きゅうにびょう気になったらとってもこまると思いました。

でも、ぼくたちのまわりには土砂災害がおこらないように、またおこった時のためにいるいな工夫がされていることをしりました。

たとえば、土砂くずれがおきないように、コンクリートでささえたり木や草をうえたりしていること。また、近くにある高そく道ろは、災害がおこった時などは、とっても大切なやくわりがある道ろだと聞きました。

ぼくは、少しあん心したとどうじに、土砂災害からみんなをまもるために、たくさんの人たちがはたらいているんだなあと思いました。

そして、もし土砂災害がおこったらすぐにひなんできるように、ものや心のじゅんぴをしっておくことが大切だなあと考えました。

夏休みがおわって学校がはじまったら、このことをクラスのみんなにも伝えたいです。